

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30 ~ 13:30
例会場 刈谷市新栄町 3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566) 22-2111
FAX (0566) 25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 岡本 巧
幹事 神野 公秀
会報委員長 兵藤 文男

2009 ~ 2010年度 国際ロータリー John Kenny (ジョン・ケニー) 会長テーマ

The Future Of Rotary Is In Your Hands ロータリーの未来はあなたの手の中に

(この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。)

第2653回例会プログラム

[当年度=13回目; 当月=1週目]

2009年(平成21年) 11月 4日(水)

刈谷 RC・知立 RC 合同例会……

〈司会：知立 RC プログラム委員会〉

- ガバナー入場
- 12:30 1. 点 鐘
2. 開会宣言
3. 君が代・奉仕の理想斉唱
4. ゲスト紹介
5. 歓迎の辞及び会長挨拶
食 事
6. 出席報告
7. ニコニコボックス報告
- 12:55 8. ガバナー紹介
13:00 9. ガバナー卓話
10. 謝 辞
11. 閉会宣言
13:30 12. 点 鐘

大澤輝秀ガバナー公式訪問
会長・幹事懇談会

会 場 ホテルクラウンパレス知立
4 F 葵の間
時 間 11:30~12:15



ゲ ス ト

国際ロータリー第2760地区ガバナー
大澤 輝秀 様 (豊川 RC)
国際ロータリー第2760地区幹事
岩瀬淳一郎 様 (豊川 RC)

出 席

会員総数 94名 出席免除 25名
出席義務者+免除者の内例会出席者 83名
欠席 12名 出席率 85.54%
前々回 (10/19) の修正出席率 100%

歓迎の辞及び会長あいさつ

知立ロータリークラブ
杉浦 知博 会長



皆さん、こんにちは。今年度は知立が当番ということで、私がお挨拶をさせていただきます。

本日のガバナー公式訪問にあたり、大澤ガバナー、そして岩瀬地区幹事のご来訪を心よりご歓迎申し上げます。

例会に先立ちまして本日11時半より、懇談会が行われまして別室にて、気さくに優しく和やかに色々なお話、またご指導をいただきました。今後の活動の参考にさせていただきます。

大澤ガバナーにおかれましては、8月から公式訪問をスタートされ、今回が最後の訪問とお聞きしました。大変お疲れのことと思いますが、このあとの卓話をよろしくお願い致します。

国際ロータリー第2760地区
大澤輝秀ガバナー

皆様、こんにちは。今日は知立・刈谷 RC の合同例会にお招きいただき、ありがとうございます。

さて、私は今、ノーネクタイでこの場に立っています。ガバナーノミニー就任以来、ロータリーの公式行事全てでノーネクタイを通したのは当然意図があつてのことであり、まずはそれをご理解いただこうと思います。

ネクタイは「作業着」の1スタイル

私は1975年に豊川 RC に入会しました。海外から戻ってくるか否やの働き盛りで、今も勿論「働き盛り」のつもりではありますが、若い頃はやはり違います。当時の私の仕事場は工場の現場で、作業着を着て出社していました。ロータリーの例会も、作業着が悪いと思ったことは一度もなく、作業着のまま出ておりましたが、当時は、ホンコンシャツの流行もあって、特に違和感なくいられた記憶があります。

ある時、先輩ロータリアンが、若い会員を「何だお前は。ノーネクタイで例会に来て」と詰問調で指導する場面に出くわし、「あれ?」。ロータリーの方向性が違ってきているのではないかと思った私は、今回、そのことを率先しようと思ったのです。

大事なことは、ネクタイを締めることの背景に、「ロータリークラブは特別な人の集まりだ」という発想がかけられれば、ロータリーはその時点から衰退の道を辿ると私は思います。「特別」というのはプライドの世界、心の問題であり、風体や姿でそれを見せることは非常におかしい話です。

このことで大変大きな援軍となったのが、昨年度、地区大会の講師にお招きしたものの、直前に身罷られてしまった佐藤千壽大先輩の著作です。この方は著作に必ず「ロータリーの迷信」という項目を設けました。その第1が、「ロータリーの例会にはネクタイを締めて出席しなければならない」。ちなみに迷信の第5は「例会の食事は必ず洋食でなければならない」。同様にノーネクタイも、ロータリーとして受け入れ難いものではないことをご理解下さい。

サブプライムの影響は RI にも

以上の話は私なりの余談であり、ガバナーとしての務めを果たして参りたいと思います。まず、私は7月1日・2日、全国ガバナー会に出席して年度のスタートを切りました。その折、黒田正宏 RI 理事より、前日まで出席していたエバンストンの理事会でのエピソードとしてこんな話が披露されました。

黒田理事は、日本に95,000人もいるロータリアンの代表として、間違いや粗相があつてはいけないからと通訳

を帯同して理事会に出られた訳ですが、そうした理事に対して RI が言ったのは、通訳の旅費・経費・滞在費は全て RI が面倒を見るけれど、自分の分は自腹でお願いしたい——今の厳しい経済情勢はロータリーも例外ではないということです。

我々が供出しているお金のうち、昨年から3年間1,000円ずついただくポリオ・プラスや、先程感謝状をお渡しした米山奨学会は、国債で運用すべしという規定があり、元本が傷むことはないのですが、ロータリー財団の年次寄付は全て国際投信で運用され、3年後、地区にも運用益込みで戻ってくる仕組みになっています。となると、昨年のリーマン破綻以後の世界大恐慌で財団の資産も大分傷ついている訳でして、そのことをご承知おきいただきたいと思います。今年度、「毎年あなたも100ドルを」が200ドルになりそうなのは、そうしたことが背景にあります。

RI テーマにまつわる逆転現象

私は1月18日～25日、サンディエゴで開かれた国際協議会に参加し、ガバナーとしての務めを果たすための勉強をして参りました。今回名駅 RC におやりいただいた地区協議会や、会長エレクト研修セミナーのガバナー版だとお考えいただければ良い訳ですが、全世界534地区のガバナーエレクト、RI 会長以下役員一同、全て配偶者と同伴参加が基本で、1,200名を超える人々が朝から晩まで勉強した次第です。

初日の最初はセレモニーで、D.K. リー現 RI 会長からジョン・ケニー RI 会長エレクトが紹介され、RI テーマ発表のスピーチがありました。ご承知の「The Future of Rotary is in Your Hands」で、この場で発表されたのは英文のみ。「ロータリーの未来はあなたの手の中に」という日本語訳は、1日の研修を終えて部屋に戻り、パソコンを開いてから知りました。インターネットで発表を見た岩瀬幹事が私にメールしてきたという一種の逆転現象です。

識字率＝生活力教育→識 IT 率

強調事項は、水保全・保健及び飢餓救済・識字率の向上と、ほぼ例年通りの内容です。また、英語を見ると「Water, Health and Hunger, Literacy」となっており、水保全が「water」一文字で表されているなど、日本語のイメージとやや違っているように感じましたので、注意すべきだと思いました。

「識字率」に対するロータリーの本音は、教育問題全般であるようです。単に字が読めるようになった、自分の名前が書けるようになったから良いというものではない——我々の支援を一過性のもので終わらせないためには、貧しい人達にただ魚を与えるのではなく、彼らに釣竿と釣糸を渡して、餌をつけて「こうやって魚を釣るんだよ」と教える必要があります。将来、彼らの生活が成り立つことを目指して支援するには教育そのものが重要で、その第一歩が「識字率」という言葉に表されています。

ロータリアンの皆様に、「識 IT 率」を身につけてい

ただきたいと思った訳です。

先程の RI テーマの事例を引くまでもなく、重要な情報がどんどん IT 経由で入ってきています。皆様も、会社で仕事をする上では当然のように IT を使っていると思いますが、自宅に帰るとどうか。必ずしも活用されていないという現実があります。

今年度、私は 7 月号の『ガバナー月信』をこのように冊子として出しました。各 RC の会長・幹事、地区の委員長・ガバナー補佐等々を全て写真と経歴付で紹介したりと、過去の事例で良かったアイデアを頂戴して、かなり充実したものになりました。

しかし 8 月以降の『ガバナー月信』は、ガバナーからクラブ会長への手紙という発想の原点に立ち返って、必要最低限の内容をインターネットで、地区のホームページから配信することにしました。「俺はどうしても、紙で読みたいんだ」という方は、各事務局でプリントアウトしてもらって下さい。

IT の導入で運営費の圧縮を

このように変えたことで何が生まれるか。ロータリアンの「識 IT 率」向上の一環であることは勿論ですが、金銭的な事柄も見逃すことはできません。従来、皆様から毎年 3,000 円、『ガバナー月信』代としていただいていたのが大幅に浮きました。これはある程度予測できたことでしたので、当初から 1,000 円下げて 2,000 円の枠とし、更に余れば他のもっと有意義な事柄に使おうと考えていましたが、どうやらその考え通りになっていきそうな昨今です。皆様のクラブ運営においても、IT を導入することで削減できる経費がかなりあると思います。是非会員の「識 IT 率」を高め、改革していただければと思います。

今年度については、国際協議会の 3 日目、ビル・ゲイツのスピーチが突然加わって大騒ぎになりました。彼がアメリカで最後のポリオが発生した 1955 年に生まれ、身内にポリオにかかって大変苦勞した人もいたため、ポリオへ高い意識を持ちながら育ったそうです。その撲滅は世界に 122 万人の会員を擁するロータリーの援助なくしてはあり得ず、自分は更に 2 億 5,500 万ドルを拠出するので、皆様も是非協力して下さい——この追加分に対してロータリーが用意するのは 1 億ドルだけで良いのですが、以前の 1 億ドルも集めている途上ですので、先程の『ガバナー月信』の余剰分を充てる予定であります。

若い人は「もっと外へ」。武者修行の応援を

その他、私がこの年度に掲げていることは「職業奉仕はロータリーの基盤」です。そして、ロータリーの奉仕活動の源となる親睦活動は、例会と一体的な関係にあります。是非、楽しい例会、出席したくなる例会を運営していただきますようお願いいたします。

謝 辞



岡本巧会長

第 5 回ロータリークラブカップサッカー大会 (5 年生大会) 表彰式

